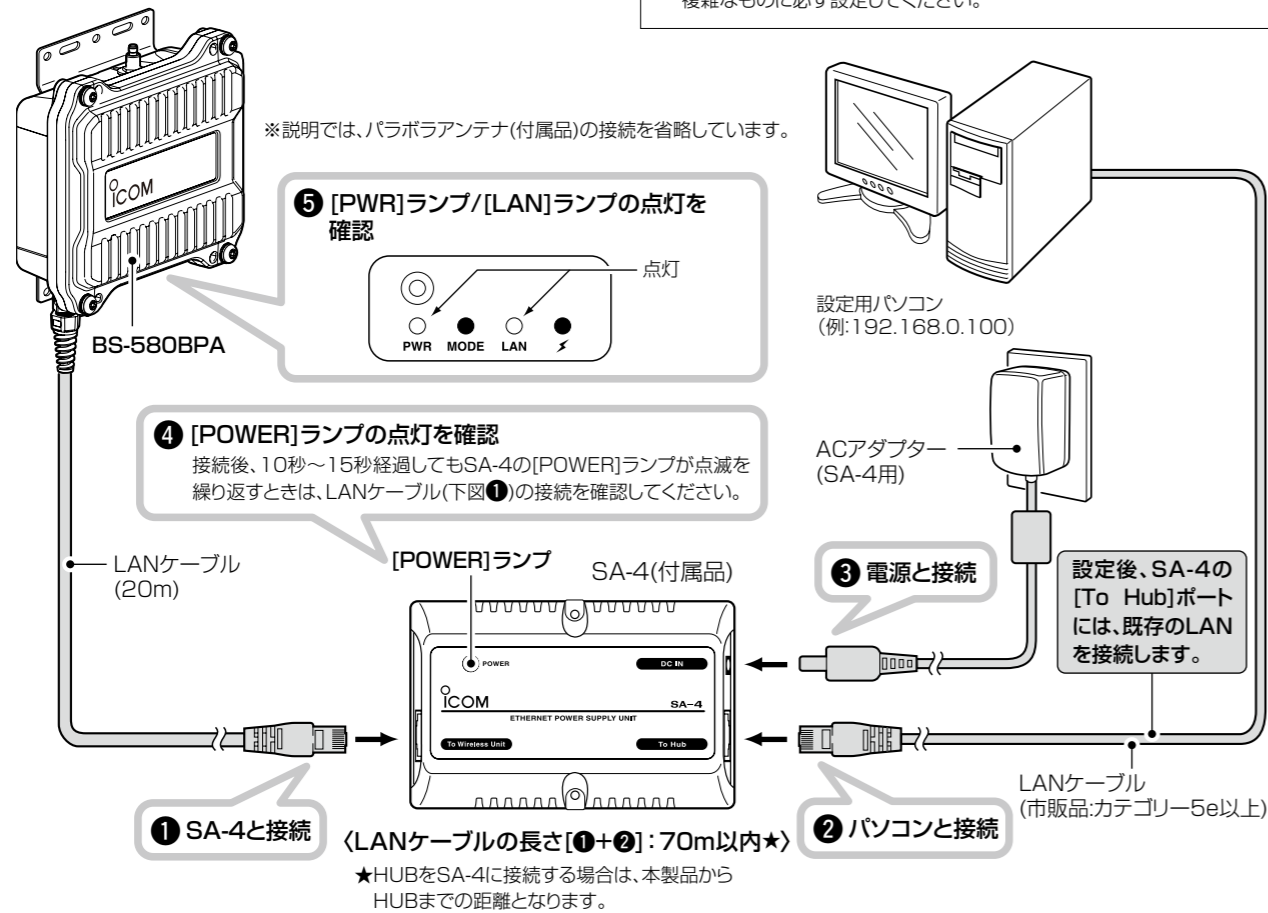


このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は、4.9/5.0GHz帯の加入者系固定無線アクセスシステム(FWA)対応のFWA LAN BRIDGE(FWA基地局)です。
本書では、本製品の基本的な接続や設定、初期化の方法などを説明しています。

本製品との接続と設定画面へのアクセスについて

- 1 本製品の設定に使用するパソコンに、固定IPアドレス(例: 192.168.0.100)を設定します。
- 2 設定用のパソコンと本製品を次の手順で接続します。

本製品の出荷時、または全設定初期化時の設定値
IPアドレス : 192.168.0.1
管理者ID : admin (変更不可) 管理者パスワード : (空白)
※不正アクセス防止のため、管理者パスワードは、容易に推測されない複雑なものに必ず設定してください。



- 3 本製品に接続されたパソコンのWWWブラウザから、次の手順で設定画面にアクセスします。

- ① WWWブラウザを起動して、本製品のIPアドレス(192.168.0.1 : 出荷時の設定)をWWWブラウザのアドレスバーに入力します。
- ② [Enter]キーを押します。
 - ユーザー名とパスワードの入力画面を表示します。
- ③ 「admin」をユーザー名の欄に入力します。
- ④ 「OK」をクリックします。
 - 「接続」メニューの「接続」画面を表示します。

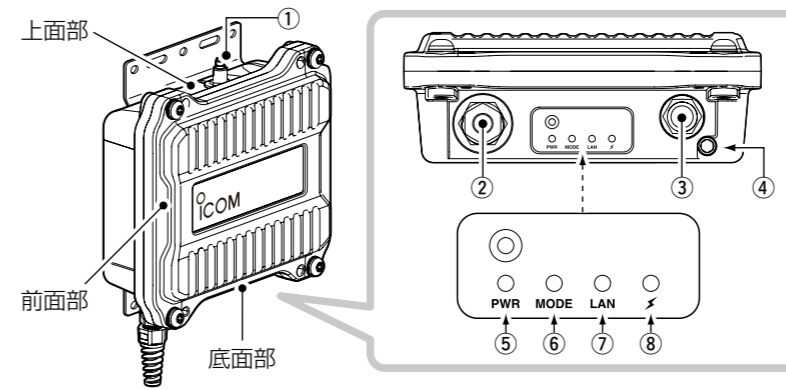
WWWブラウザについて

Microsoft Internet Explorer 8で動作確認しています。
設定画面が正しく表示できるように、WWWブラウザのJavaScript機能、およびCookieは有効にしてください。
※Microsoft Internet Explorer 7以前をご使用の場合は、正しく表示できないことがあります。



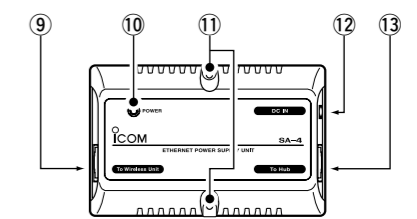
各部の名称と機能

■ BS-580BPA



- ① アンテナコネクタ(避雷器内蔵)
付属のパラボラアンテナを接続します。
※接続方法は、設置工事説明書②(別紙)をご覧ください。
- ② LANケーブル
付属のSA-4、または[IEEE802.3af]対応のHUB★などと接続します。
- ③ [CONSOLE]ポート
ターミナルソフトウェアを本製品の設定に使用するとき、設定用ケーブルを接続します。
※設定用ケーブルは、販売しておりません。
必要の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ④ アース端子
本製品のケース(筐体)を接地するとき、アース線(付属品)を接続します。
※接続方法は、設置工事説明書①(別紙)をご覧ください。
- ⑤ [PWR]ランプ
点灯 : 本製品に電源が供給されているとき
- ⑥ [MODE]ランプ
消灯 : 通常の運用では使用しません。

■ SA-4



★ 100BASE-TXより低速なHUBは、意図しない動作で通信に障害を与えるなど、通信速度低下の原因になりますので、接続しないでください。
BS-580BPAは、MDI(ストレート)/MDI-X(クロス)の自動判別機能に対応していますので、HUBのポートに直接接続してください。

- ⑦ [LAN]ランプ
有線LANとの接続状態を表示します。
点灯 : 有線LANへの接続が正常なとき
点滅 : データを送受信しているとき
- ⑧ []ランプ
点灯 : FWA無線LAN端末と通信を確立したとき
消灯 : 本製品と通信中のFWA無線LAN端末が存在しないとき
- ⑨ [To Wireless Unit]ポート
本製品のLANケーブルと接続します。
- ⑩ [POWER]ランプ
点灯 : 本製品とSA-4が接続されたとき
点滅 : 本製品とSA-4が未接続のとき
- ⑪ 壁面固定用ネジ穴
付属のタッピングネジ(AO 3×16 : 2本)でSA-4を固定するときの穴です。
- ⑫ [DC IN]ポート
付属のACアダプター(SA-4用)を接続します。
- ⑬ [To Hub]ポート★
パソコンと接続します。
※設定後、既存のLANを接続します。

設定画面の名称と機能

本製品の設定画面の名称と各画面に含まれる項目を説明します。
※各設定項目の説明は、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。



- ① 設定画面のリンク
クリックした名前の画面を[設定画面表示エリア]に表示します。
 - ② ホームページのリンク
インターネットに接続できる環境で、アイコンをクリックすると、弊社のホームページを閲覧できます。
 - ③ 設定画面選択メニュー
各メニューのタイトル上にマウスポインターを合わせて、そのメニュー名をクリックすると、そのメニューに含まれる画面名を[設定画面のリンク]の部分に表示します。
 - ④ 設定画面表示エリア
[設定画面のリンク]でクリックした名前の画面を[設定画面表示エリア]に表示します。
- ⑤ 設定ボタン
設定した内容の登録や取り消しをします。
<登録>をクリックして、「再起動が必要な項目が変更されています。」と表示されるときは、「登録して再起動」をクリックすると、画面上で確定された内容が再起動後に有効となります。再起動中は、下記の画面を表示します。
- 本体を再起動しています。
本体の起動を確認後、[Back]をクリックしてください。
- ※再起動が完了(約30秒)するまで、[Back]と表示された文字の上にマウスポインターを移動してクリックしても、設定画面に戻りませんので、しばらくしてから再度クリックしてください。
※表示画面によって、表示されるボタンの種類や位置が異なります。

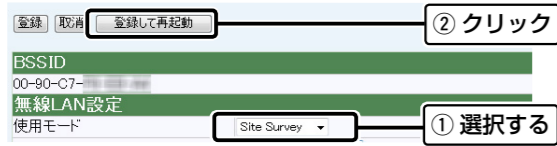
不正アクセス防止のアドバイス

本製品に設定する暗号鍵(WEPキー/Pre-Shared Key)、管理者パスワードは、容易に推測されないものに設定してください。
数字とアルファベット(大文字/小文字)を組み合わせた複雑なものにし、さらに定期的に変更すると有効です。(※設定については、裏の紙面で説明しています。)

サイトサーベイ機能について

本製品の設置場所周辺における通信環境を調査できます。

- 1 「無線設定」メニューをクリックします。
 - 「無線LAN」画面を表示します。
- 2 「無線LAN設定」項目の[使用モード]欄で、「Site Survey」を選択して、<登録して再起動>をクリックします。
 - 再起動後、サイトサーベイを開始します。



- 3 「情報表示」メニュー、「無線UNIT」の順にクリックします。
 - 「無線UNIT」画面を表示します。

No	チャンネル	RSSI	BSSID	暗号化	SSID
1	184CH (4920 MHz)	35		暗号なし	LG

本製品の無線伝送エリア内で稼働するFWA基地局の情報を一覧で表示します。

- ※ サイトサーベイ中は、FWA無線LAN端末と通信できません。FWA無線LAN端末と通信するときは、[無線LAN設定]項目の[使用モード]欄で「Base Station」を選択して、<登録して再起動>をクリックします。
- ※ サイトサーベイの詳細や調査例については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

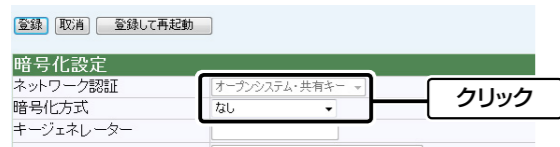
暗号化方式と設定について

不正アクセス防止のため、必ず「無線設定」メニュー、「暗号化」画面の順にクリックして、暗号化を設定してください。

※暗号化方式は、「WEP RC4」、「OCB AES」、「TKIP」、「AES」の4種類から選択できます。

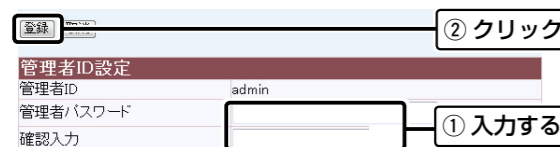
※通信相手と暗号化設定が異なるときは、通信できません。

※ネットワーク認証やRADIUS設定など、詳細な設定手順については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。



設定画面へのアクセスを制限するには

不正アクセス防止のため、必ず「システム設定」メニューをクリックして、管理者パスワードを設定してください。



長距離通信モードについて

出荷時、本製品には、長距離通信モードが設定されています。

接続端末制限	63
ビーコン間隔	100 ミリ秒
DTIM間隔	1
長距離通信モードを使用	しない する
最低送信速度	自動
最高送信速度	自動

- ◎通信相手との距離が600m以上の場合は、出荷時の設定でご利用ください。
 - ※600m未満の場合に長距離通信モードを使用すると、通信速度低下の原因になります。
- ◎長距離通信モード使用時、通信速度が安定しない場合は、「無線設定」メニューをクリックして、[最高送信速度] (出荷時の設定:自動) の上限を下げることで改善されることがあります。
 - ※通信が安定しない場合は、フレネルゾーンについてもご確認ください。フレネルゾーンについては、別紙の「設置工事説明書①」をご覧ください。

取扱説明書のダウンロードについて

設定ガイドに記載していない詳細な機能を設定するときは、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

<http://www.icom.co.jp/support/download/manual/>

取扱説明書(PDFファイル)をご覧いただくにはAdobe® Reader®が必要です。
※お持ちでない場合は、Adobe®ホームページからソフトウェアをダウンロードしてください。

リセット(再起動)について

本製品の再起動が必要な場合は、本製品のLANケーブルを抜き差しするか、付属のSA-4、または[IEEE802.3af]規格対応のHUBに接続された電源を抜き差ししてください。

※電源の入れなおしができない環境では、ターミナルソフトウェア、またはTelnetから、restartコマンドを使用してください。
※Telnetからの操作については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

全設定の初期化について

全設定を工場出荷時の状態に戻すときは、WWWブラウザから本製品の設定画面にアクセスするか、Telnetでアクセスして全設定を初期化してください。

※初期化の操作については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

※本製品に設定されたIPアドレスが不明な場合は、本製品の[CONSOLE]ポートに接続されたパソコンからターミナルソフトウェアでアクセスしてください。

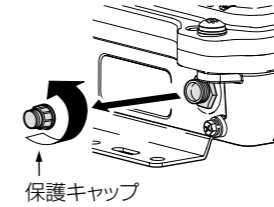
ターミナルソフトウェアで設定するには

本製品のIPアドレスが不明な場合など、ターミナルソフトウェアを使用して接続する手順について説明します。

※専用の設定用ケーブルが必要です。

販売はしておりませんので、必要な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- ①本製品の電源供給に使用している付属のSA-4、または[IEEE 802.3af]対応のHUBから電源をはずします。
- ②[CONSOLE]ポートの保護キャップ(右図)をはずします。
- ③本製品の[CONSOLE]ポートとパソコンの[COM]ポートを設定用ケーブルで接続します。
- ④本製品に電源を供給し、パソコンからターミナルソフトウェアを起動します。



- ⑤下記を設定して、[ENTER]キーを押します。
 - 【接続方法】 : 設定用ケーブルが接続された[COM]ポートの番号を指定
 - 【ビット/秒】 : 115200(ビット/秒)
 - 【データビット】 : 8
 - 【パリティ】 : なし
 - 【ストップビット】 : 1
 - 【フロー制御】 : なし

- ⑥下記を入力して[ENTER]キーを押すと、ログインできます。
 - login : admin password : 空白(何も入力しない)

※出荷時や全設定初期化時は、本製品のpasswordを設定していません。
※passwordは、本製品の設定画面にある「システム設定」メニューで設定された内容と同じです。

- ⑦BS-580BPA #と表示されたことを確認します。
 - ※アクセス後に[Tab]キーを押すと、本製品で使用できるコマンドの一覧が表示されます。コマンド名の入力につづけて[Tab]キーを押すと、サブコマンドの一覧を表示します。